

## ㊦C—30 家庭機器の人間工学的研究(5)

### —電気洗濯機の絞り器使用時の筋電図 について—

奈良女子大 梁瀬 度子  
花岡 利昌

電気洗濯機を用いて洗濯作業を行なう場合、絞り作業が全作業の中で最も大きいウエイトを占めていることはいうまでもない。従って絞り器の使い易さが作業能率に大きく影響を及ぼしている。一般に市販品の絞り器のクランク軸の高さは、各メーカー、各機種によってかなりの相違があり、この高さの相違が主観的には使い勝手に大きく影響を及ぼしていると感じられたので、絞り器のクランク軸の高さを種々に変えて絞り作業を行なわせ、その場合の 1) 足蹠位置との関係、2) 腕の屈曲角との関係、3) 肩峰点と肘関節の軌跡との関係、4) 手掌面の圧力変化について、等の 4 項目について人間の側の諸条件の研究を行ない、先年の第14回総会において報告した。

これまで行なった実験では、高さの適否が主観的に感じる程には顕著に結果に表われていないので、今回は絞り器使用時における腕の筋電図を測定し、高さとの係関を検討してみた。

電極には表面電極を使用し、それを生物実験用万能オッシロスコープに導き、長時間連続記録撮影機を用いて記録した。